

知的生産の技術 021202

タイプ 1

最近何をしても、自分の好きなことに結び付けてアイデアを出そうと考えてしまう。

いつも考えていないせいかあまり思いつきませんでした。

寺島実郎さんは様々な役職を勤めながらも、自分のキャリアからはずれることはしないで、じっくりと考える方と言う話を聞き、すごいことだと思った。自分の仕事に自信を持ち、着実に積みあげてきたという証明なのだろうと思った。果たして、自分は看護と言う仕事を自信を持って、積みあげてきたのだろうかと思ってしまう。

最も身につけていることは人間関係・友人関係だと思うし、自分の経験暦は全てボランティアでうめつくされた。人間が好きで、子供が中心として、人と関わるボランティアをしている自分がいることにあらためて気づいた。

項目がぐんと増えたということもあり埋めるのが大変になってきました。別段得意と思えるようなこともなく仕方なく他人に合わせることに書いておきました。じっくり考えれば思い出せるようなものなのでしょうか？それともたずねられた時に即答できなければダメでしょうか？授業中、先生の「これからやろうと思います、と言う人は一生そう言い続けます」という言葉が印象的でした。ちょうど中学校の恩師が「いつかやる、と言う人は一生やらない」と言っていたのを思い出しました。

タイプ 2

他人と話すとき、自分史を進めるように、一人で考えるよりもスラスラ書けた気がする。自分の考えと他人の目は違うところが多いんだなと感じた。

思い出せば思い出すほど自分の関心のある分野はあまり変化していないことに気がきました。

同じ「友情」といっても人によって考え方が全然違うということが分かりました。そういう違う「友情」の価値観を持っている人たちと、「友情」を築いていくのだから、大変なものしかたないと思いました。

高校の時に自分をわずらわした「進路決定シート」を思い出しました。自分と向き合っていないとなかなか書けないもので、書くことが見つかりませんでした。

タイプ 3

まとめりそうでもまとまらない自分の過去に右住左住しています。自分史は出来上がるのか！！

他の人と話すことで、自分のことをさらに深く知ることができるような気がした。自分の嫌いなことが相手にとっては好きなことだったりして、その人の話を聞いてみると嫌いになっている原因が少し分かってきた。

タイプ 4

ちゃんとした自分史をつくりたい。

自己カウンセリングってちょっとてれくさいと思った。先生にやってほしかった。キャリア開発シートが書きあがったのを見てとても現実的なことを書いてたので驚いた。

風で頭がぼーっとした。家に帰ったらもう一度ゆっくり考えてみようと思う。

今日は、サークルの先輩もまじえて話をした。自分のことは、自分より他人の方が知っている場合もあり、ジョハリの窓を思い出した。

看護に全く興味がない訳ではないが、それ以上に雑誌の出版に携わる職種につきたいと考えるようになりました。特に女性の骨格の美しさについて主に若い女性に向けてファッション誌で伝えたいのです。今、とても悩んでいます。

自分の持っている資格、勉強していることが関心・興味の中に入ってきてません。

中学生の頃から「ばくぜんとものを作る人」になりたかった。そんな気持ちのまま大学で来てしまった。でも、そこから先の「明確な職業」が決められない。いっそのこと確かに「あなたの職業はだよ」と決めてもらってしまいたい。でもそれじゃ、きっと後悔する。あ...困った！困った！

今回の講義では、自分の関心・興味について知ることだったけど、それを知ったら、今どうしてここ(宮城大学)にいるんだろうって思ってしまった。保険をかけているように情けない。

知的生産の技術 021202

タイプ 4

今日は色々な人の興味や関心を聞いた。深めたい分野・なりたい職業はまったく別のものだった。好き・趣味・夢中はどこかで結びついているものだと思う。

「能力・技術」の欄を埋めていくうちにどんどん自分に自信がなくなりました。自分アルバムシートってイライナあと思いました。自分が生きてきた中で一番の思い出を書きました。「関心・興味」を書いてみて、私ってミーハーなのかなあ？と少し思いました。

この授業で、授業以外の時間でも自分を振り返る習慣がついた。何もないような毎日だが、実は沢山の経験や出来事に囲まれている。

それを活かすようなまた、それから学んだことを活かす職業につけるようにがんばります。

あまり何も考えずに生きてきたので、これからは少し意識して生活していこうと思う。

自分だけで考えるより周りの人と話すことでより考えが深まり自分が見えてきた気がする。

自分にはそれといった趣味や夢中になれることがなく詳しい分野もないことに気づいた。これはきっと悲しいことだと思う。

自分像把握シートで自分の関心、興味を考えてみると、思いつかなかった。知識も全然ないし、このままじゃダメだと思った。中心のある人間になりたい。

不得意なことはたくさん出てくるが、得意なことはなかなか出てこなかったので悲しかった。

「好きなこと」と「趣味」は事柄をどちらに定義していいのかわかった。

タイプ 5

タイプ別の職業観は面白い。私は前職を選択する時、自分が一番就きたくない職業をあえて選択したので、いやで仕方なかった。(会社のネームバリューで選んでは駄目)

「書けないのは書く中味がないから」と言う言葉が身にしみた。今、レポート書けず苦しんでいるので。また、「考えた事(データ)を残さないのはやっていないと同じ事」と言うのも心にしみた。

よく考えると大学に入ったら高校と違って答えがいっぱいあったりする。そういう状況におかれているうちに「ものごとをはっきりさせる」ことがあまり重要ではないように感じてきた。特に音楽の誌・写真・絵などに関してはものごとをはっきりさせるのが嫌いだ。

タイプ 6

今まで何をしてきたかこれから何をするのか？
耳が痛い質問です。

今までの出来事や学生時代にやってきた部活を思い出して、ちょっとなつかしくなりました。

今のうちから自分をもっと知っておくべきだと思った。

宮城大学に入る前は、宮城大学に入ることで、すごく楽しくなれる大学は楽しいところだと思っていました。でも、ずっと4月に入学してから悩んでいました。あと周りに圧倒されて、自信もなくなりました。楽しく生きたいです。自分が楽しめる仕事したいです。私は幼い頃、貧乏と言うか、不安定な生活をしてきたので、安定した暮らしがしたいです。でも、毎日、生活する上でのワクワクも欲しいです。自分らしく生きたいです。

私は日記をつけていてもすぐやめてしまうので、昔どんなことを考えていたかなかなか思い出せない。

どんな事が起こってきたのか知りたいと思った。自分の興味などをつきつめると、やはり看護に関わることが多いと思う。

今日のテーマは考える事が多すぎて簡単にまとまらなかった。

自分の興味のある分野は少なく、また、それは性格判断からすると自分に向いている職業のある分野だったのでその職業を目指してみようと思った。ただ、それは、性格判断以前から決めていた事なので、この講義は参考程度にしようと思う。

知的生産の技術 021202

タイプ 7

関心のあるもの・興味のあるものを書き出していき、今の自分に近づいてきているように感じました。

授業が終わってから車の中とか、家で思い出された過去の出来事、出逢いについて思い出されました。そのことが、現在の自分の生き方の根底担っているようです。

興味・関心があることを仕事にすることはあまりよくないと前に聞いたことがある。今日、興味・関心の分野をやってみて改めて好きな分野の仕事につくことについて考えたいと思った。

今日は社会人3人で集って正直に自分の心をさらけ出した話し合いができた。これができたのもワークシートによって自分の内面を判断的に切り取る作業をしたからでしょう。公私融合が私のテーマですが、今日の作業によって「能力開発」というのがキーワード担っていることに気がついた。

昔から全く変わっていない。

今日の作業は難しかった。家に帰ってアルバムや文集なんかを見て、もっと色々思い出したいと思った。

新聞記事などを見て当時の情勢から思い出したい。

日記の素晴らしさが分かった。つけてみたいと思う。

自分史を振り返るのは厳しい。

タイプ 8

自分像把握シート2の「関心・興味」の記入をしていて「好き」の項目には色々書くことが思い浮かんできたが、「嫌い」の項目はなかなか浮かんでこなかった。自分は嫌いなこと、苦手なことはすぐに忘れてしまうタイプなのだと思いました。夢中になれることが今ない私は確かにいま少し何事においても集中しきれていない所があると思いました。

最近夢中になれることが思いつかなかったので、なかなか寂しい感じがありました。昔からいろんなことに興味があったので、その中から自分の将来の職業へつなげられるといいなと思いました。

これまでの自分の人生の中で学んできたこと、そしてこれからこの大学生活の中で学んでいきたいことが分かってきたような気がしました。

今現在大学で学んでいることは、興味はあるのですが、将来この方面で働きたい！という気にはなれません。大学の勉強は自分の経験の1つとしてしか考えられないのは大学生活を無駄にしているのでしょうか。

自分の興味・特技にかたよりがあることを知った。

自分は渡された資料に、項目に沿ってポンポンと書いていくことが出来なかった。ただ悩み、考えているだけではなく何か自分からアクションを起こさないと何も出てこないと思った。カウンセリングして下さい。

私はやはり人の助けとなることへの関心が深いようである。また、ものを育てることも好きだし、経験も多少しているので、将来もこういったことができればと感じた。

タイプ 9

不得意なものは沢山出てくるのに、得意なものは全然思いつかなかった。今、関心があるのは欧州サッカーだった。

どちらかというと、楽しいとか、つまらないとかいう方で考えていると思います。

好きなこと・興味あることたくさんあるはずなのに、思いつかなかった。もっと自分の中のいい部分を見つけたい。

いかに適当にすごしているかを思い知らされた。もっとしっかり考えないとダメだと思った。年末年始忘れずにやらないといけませんね。

自分の関心や興味があることは、分かっているつもりでも、いざ書き表すとなかなかでないものだった。まだまだ自分のことを理解していないのだと思った。

知的生産の技術 021202

タイプ9

家でアルバムを開きながらじっくり考えたい。

自分把握シートを記入していくうちに、内容の統一性がないように感じて、自分はいったいどんなタイプなのか余計分からなくなりました。また、書けないのは内容がないというのは、まさにそのままのことだと思います。シートとの記入例などがあれば、少し書きやすくなるのではないかと思いました。

好き、興味、夢中になれることは人と話していると、その中で思い出すこともあった。人とコミュニケーションをとることは、自分を引き出すきっかけになるのかもしれないと思った。

大学を狙うにあたって、相当深く考えたが、確かに一つの職種を指している。しかし技術が足りないので、勉強しなければ。また、先を見て学んできたためか、学歴、興味、関心、技術どれも同じものを指しているように見える。

以前仕事経験があり、大学を卒業したら同じ道に戻らと思う。今回自分のキャリア開発ということで、自分自身をいろいろ掘り起こしてきたが、他にもっとやりたいことやなりたかった職業、あこがれのものがたくさんあった。しかし今さら変えることもできないし、ましてやそんな勇氣はない。今回の作業は、すでに仕事が決まっている自分にとって少し淋しさを感じるものである。

自分の興味・関心について考えて見ると、他に看護よりもやりたいことがあるような気がしました。看護大学に通っているので、自分の興味のある分野と関連する看護の分野を今後学んでいく中で見つけていきたいと思っています。

生まれた時から、今までの自分史と、今興味があって深めたい分野と働きたい業種。漠然とですが、つながりが見えてきた気がします。もっと「自分」というものを察知って、もやもやを晴らしていきたいです。

能力・技術を考えてみると、なかなかスムーズに出てこなかった。こまごまとじっくり考え、文字という形でハッキリ表現することも必要なことだと思います。

大学に通っていて、高校の時に夢中になっていたものを思い出せないでいる自分にもショックだった。もっといろいろなことにチャレンジして、興味あるものを増やそうと思った。自分史をつくることは、これからの自分を開発することだと改めて実感した。

タイプ9の向いている職業の中に、自分がなりたい職業があったので、良かった。

関心・興味は今までの出来事や経験から強く影響を受けていると感じた。

今日の話合いで、同じ科目履修の方々と考えることができ、とても勉強になりました。今まで、同じタイプの方が多かっただけに、違うタイプの方とお話をするとは全然違うと実感した。

前回の講義のアンケート結果の、このタイプだからといってこの職に就くというのは間違いだ、ということに賛成です。

関心・興味のある所の質問項目を答えていたら、看護関係のことが一つもあがらなかった。目指しているのは看護職なのに大丈夫なのでしょう。

もうちょっと自分の生活を振り返さなくてはと思った。

プリントを進める中で、興味・関心というものはハッキリ分かっていたが、これからそのことをどう活かし、将来につなげていくかがまだ決まっていな。

まだまだリサーチが必要だ。自分の生きている時代の長さを感じた。

分のことを聞かれているのに分からなかった。

自分の関心ごととか、能力とかをクリアするのは難しいと思った。

その他

新しい自分を発見できた気がする。

素直な自分と向き合うことが重要だと思いました。